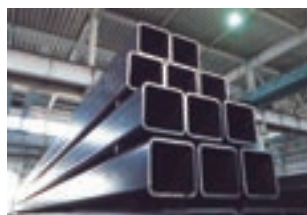




第66期 報告書

2019年1月1日から2019年12月31日まで



CONTENTS

P 1 ~ P 2 株主の皆様へ

P 3 販売品目

P 4 連結財務諸表

P 5 会社データ

P 6 株式情報

清和中央ホールディングス

株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



2020年3月

代表取締役社長
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第66期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第66期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、年間を通して個人消費や雇用・所得環境は底堅く推移しましたが、米中貿易摩擦や中国経済の減速等の影響により、企業の生産や輸出は低調さが目立ち、国内景気に停滞感が窺われました。一方、国際経済は、米国は個人消費が堅調に推移したものの、欧州は英国のEU離脱で混迷が続き、また中国は米中貿易摩擦により、個人消費や生産が低迷する等、景気の減速が鮮明となりました。

鉄鋼業界におきましては、輸出ウエイトが高い製造業向け鉄鋼需要は、国際経済の減速を受け漸減傾向が続き、また建設向けも慢性的な人手・加工能力不足に加え、ボルト不足問題も抱え、着工延期が発生する等、前年を下回る状況が続きました。また鉄鋼市況についても、約3年間続いた上伸基調から、軟調な原材料価格と前述の需要環境が影響し、一転下落基調となりました。

このような経営環境下において、当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、当連結会計年度の売上高は529億10百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は8億5百万円（前年同期比34.0%減）、経常利益は8億99百万円（前年同期比32.7%減）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する当期純利益は、5億98百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

今後の課題について

わが国経済の見通しは、各種政策の効果もあいまつて、良好な雇用環境維持と所得環境の改善が持続されるものの、米中貿易摩擦の影響や景気減速が鮮明な中国経済の動向、英国のEU離脱、中東情勢をはじめとした地政学的リスク等、先行き懸念材料も多く、国内外の経済は総じて減速が続くことも予想されます。

鉄鋼業界におきましては、底堅い需要が期待できる建設向けは、ボルト不足問題が改善されつつありますが、人手不足・働き方改革の課題が続き、また世界経済の下押しリスクは、輸出を中心とする製造業に影響するものと思われます。一方、鋼材価格については、為替の動向や原材料価格の下落によっては、更なる下振れリスクが懸念されます。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべく、さらに収益重視の姿勢を堅持、経営基盤を強化し存在感ある企業を目指します。

① 事業競争力の強化

各事業会社は、事業に関する権限と責任の下、市場環境の変化に適した迅速な意思決定を行い、既存商流からユーザーの新たなニーズを取り込む「新たな商流改革」を推進し、また既存商材だけでなく「新たな商材発掘」を見出し、市場環境に対応した事業競争力の強化に取り組んでまいります。

② 適正在庫の確保

当社グループは、鋼材の販売・加工等の事業において在庫販売を基本としており、鋼材市況の下落局面においては、業績悪化が懸念されることから、常に適正在庫の確保に努めてまいります。

③ 人材の確保と育成

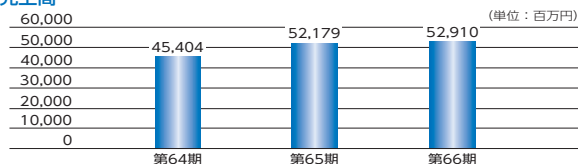
当社グループは、変動の激しい経営環境の下、柔軟な発想を以って事業を推進していくためには、人的資源が事業の基盤であると認識し、優秀な人材の確保、発掘、育成が不可欠であります。また、少子化に伴う生産年齢人口の減少や高齢化など、労働市場が劇的に変化する環境において、人事制度の見直し、働き方改革、福利厚生の拡充等、従来からの考え方に捉われずに組織の新陳代謝に取り組んでまいります。

④ 法令及び社会ルールの遵守

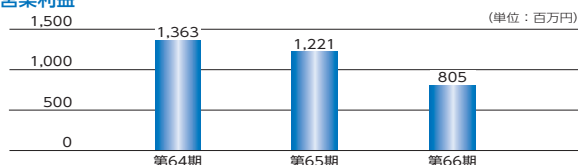
当社グループは、営業活動を推進していく上で、法令・社会ルールを遵守し、不正や反社会的行動を防止することを優先事項と捉え、コンプライアンス体制の一層の強化に取り組んでまいります。

連結財務ハイライト

●売上高



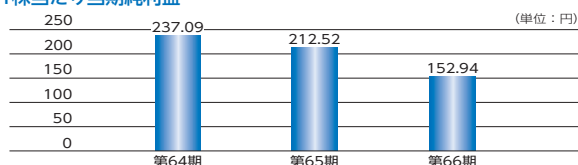
●営業利益



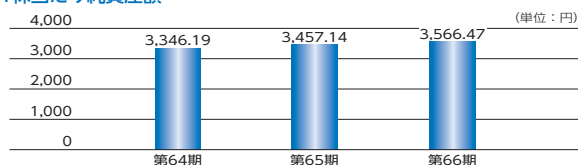
●親会社株主に帰属する当期純利益



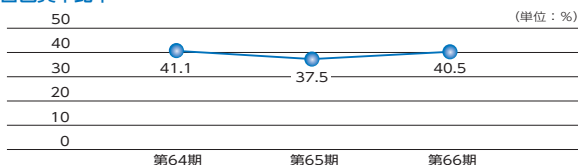
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本比率



(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第66期の期首から適用しており、第65期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



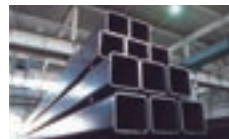
H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル アルミニウム
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 2018年12月31日現在	当期 2019年12月31日現在
資産の部		
流動資産	27,286	25,422
固定資産	8,854	9,098
有形固定資産	6,841	7,139
無形固定資産	21	33
投資その他の資産	1,991	1,925
資産合計	36,140	34,520
負債の部		
流動負債	20,687	18,811
固定負債	1,685	1,507
負債合計	22,372	20,318
純資産の部		
株主資本	12,931	13,334
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	11,620	12,023
自己株式	△26	△26
その他の包括利益累計額	605	630
その他有価証券評価差額金	605	630
非支配株主持分	231	236
純資産合計	13,768	14,202
負債及び純資産合計	36,140	34,520

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	当期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
売上高	52,179	52,910
売上原価	46,889	48,170
売上総利益	5,290	4,739
販売費及び一般管理費	4,068	3,933
営業利益	1,221	805
営業外収益	152	135
営業外費用	37	41
経常利益	1,336	899
税金等調整前当期純利益	1,336	899
法人税、住民税及び事業税	480	344
過年度法人税等	55	—
法人税等調整額	△48	△55
当期純利益	848	610
非支配株主に帰属する当期純利益	16	11
親会社株主に帰属する当期純利益	832	598

〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)	当期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	288	825
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	377	△390
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	551	31
現金及び現金同等物の期首残高	819	1,370
現金及び現金同等物の期末残高	1,370	1,402

【会社概要】

(2019年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	7億3,580万円
従業員数	15名 (連結従業員数：222名)

主要な事業内容
当社グループは、当社および子会社6社で構成され、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

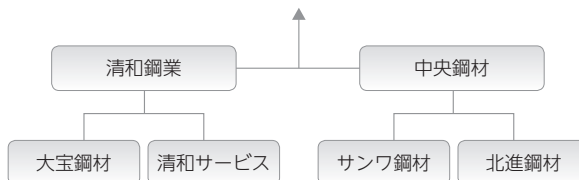
【役員】

(2020年3月27日現在)

代表取締役社長	阪上正章	
専務取締役	阪上恵昭	管理本部長
取締役	西本雅昭	管理本部副本部長
取締役	後藤信三	
取締役	草野征夫	
常勤監査役	上山公	
監査役	岸保典	
監査役	小西弘之	

- (注) 1. 取締役草野征夫氏は、社外取締役であります。
2. 監査役上山公、岸保典、小西弘之の3氏は、社外監査役であります。
3. 取締役草野征夫氏および監査役上山公氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。
4. 監査役小西弘之氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

【清和中央ホールディングス組織図】



■ 連結子会社

清和鋼業株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131

中央鋼材株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-10-9 TEL：03-6891-4800

大宝鋼材株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205

清和サービス株式会社

〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

■ 非連結子会社

サンワ鋼材株式会社

〒306-0204 茨城県古河市下大野2000 TEL：0280-92-2111

北進鋼材株式会社

〒340-0813 埼玉県八潮市木曾根1212-3 TEL：048-999-7373

【株式情報】 (2019年12月31日現在)

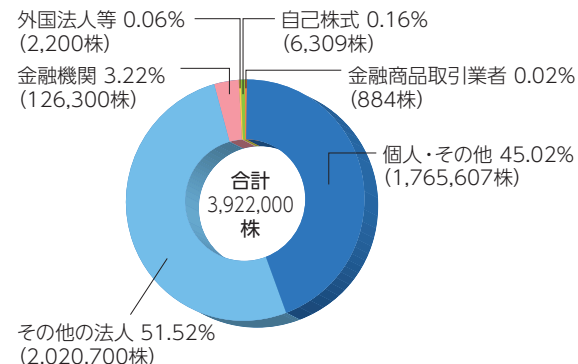
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,922,000株
- 3) 株主数 310名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社ワイエムピー	558,000株	14.25%
エスケー興産株式会社	495,800	12.66
阪上 正章	441,080	11.26
阪上 恵昭	282,000	7.20
大和製罐株式会社	223,500	5.71
阪上 寿美子	218,600	5.58
山口興産株式会社	185,600	4.74
東洋商事株式会社	149,500	3.82
エムエム建材株式会社	130,000	3.32
加藤 匡子	115,700	2.95

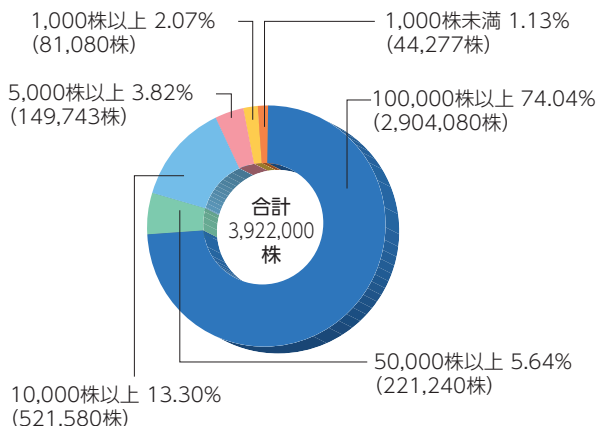
(注) 持株比率は自己株式 (6,309株) を控除して計算しております。

【株式分布状況】 (2019年12月31日現在)

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

公告の方法

電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ



IR情報

